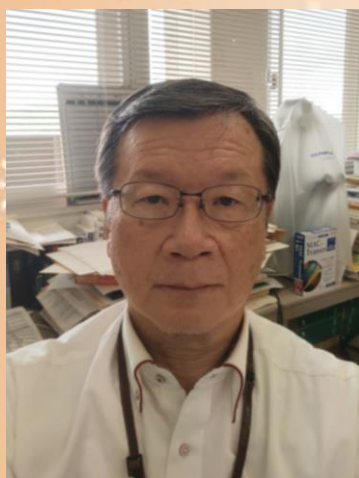


「学生もまた師なり」

臨床検査学科 教授 森田 城次



病理診断において形態学的検査を補完するタンパクや遺伝子のcapture、その後のMSやsequenceは長足の進歩があります。振り返りますと病理診断も症例ごとの差異を歴代の病理学者が積み上げて行った結果です。今はまだ遺伝子変異や特定遺伝子の発現と病理診断を繋いでいる状況です。MSとて同様です。これは大先輩の病理学者が行った事と同じと考えています。科学の切り口は変わります。

昭和の時代、質量分析はタンパクを知らない者がやることだと言われていました。遺伝子配列決定でさえ、酵素法に疑問が持たれていたり、後のショットガン法も然りです。

では今、化学法で行っている先生は何人お見えてでしょうか。シャークコームを使い、longを読んでいる方はいますでしょうか。GeneChipを否定しスタンフォード式で自らスポットしている方はいますでしょうか。サーマルサイクラーに至ってはTaq発見の前です。夢のまた夢。

こうして思い出しますと、ブレイクスルーは本当の意味で専門家ではないことに気付きます。学生のちょっとした疑問に耳を傾けることの重要性が見えてきます。学生もまた師なり。

【注釈】

1. capture : 検出すること。
2. MS : アミノ酸配列決定法の一つである質量分析法。
3. sequence : 遺伝子配列を決定する。
4. long : ロングゲルと呼ばれる高さ90cmにも及ぶ電気泳動。
5. GeneChip : 数千から数万の遺伝子が固定されている非常に小さなチップのこと。
6. Taq : PCR反応時の熱耐性を持つ酵素。

おすすめ図書

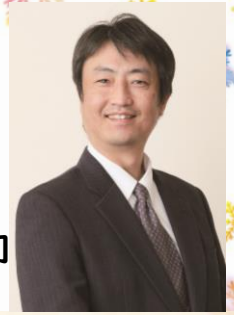


『部分と全体 私の生涯の偉大な出会いと対話』 W.ハイゼンベルク：著

配架場所
289.3||He



放射線技術学科
准教授 山内 浩司



量子力学をつくった物理学者のひとり、W. ハイゼンベルク（1901-1976）の自伝。古い本（原書、訳書1974年）ですが新装版で現在も入手可能です。学生時代に初読、その後も何度か再読していて、そのたびに知識欲・探究心などが刺激されます。

時代は1919年から1965年まで、著者の大学入学前後からとなります。副題にあるように、その時々になされたであろう対話・討論を中心として構成されています。

著者の序は「科学は人間によってつくられるものです」で始まります。科学は人との対話・討論で進んでいく、本書はそういった内容になっています。登場人物、対話の相手はプランク、ゾンマーフェルト、ボーア、アインシュタイン、シュレーディンガー、パウリなど。

話題は物理学はもちろんのこと、哲学、芸術、政治など多岐にわたります。記された対話はもちろん著者の記憶の再構成ですので正確な記録ではありませんが、相手の立つ位置や性格までよく描写されていると思います。教科書で名前と業績を見るような人たちが、ハイゼンベルクから見てどんな人物であったかを知ることができます。討論の内容が理解できなくても、その点で楽しむことができます。



『夜が明けたら、 いちばんに 君に会いに行く』 汐見 夏衛：著

配架場所
913.6||Sh



薬学科
1年 中川華夢



「俺はお前が嫌いだ」誰しも面識のない相手にそう言われれば怒りの気持ちを覚えるでしょう。茜もまた青磁にそう告げられ同じ気持ちを抱いていました。この時から茜と青磁の正反対の2人はお互いを嫌い合っていました。茜は自分の気持ちを押しつぶし優等生を演じていましたが、青磁にだけは自分の思いを見破られてしまいます。彼の絵をきっかけに2人の関係性が徐々に変化していくところが見どころです。読み続けていくうちに2人の世界に引き込まれていき最後には思わず涙がこぼれました。

お互いを思う気持ち、自らが抱える不安、全てから目が離せず言葉にならない感情が込み上げてきました。ここで私は人間の本心について深く考えさせられ、見えていたものだけが全てじゃない、そう感じさせられました。

この本を読み終えタイトルの意味を理解したとき感動と共にどこかすっきりした気持ちにさせられました。私もこんな青春を過ごしたいと思える一作でした。

私と同じようにこの本を手に取り是非この感動を味わってほしいです。

図書館のお知らせ

12月・1月の企画展示コーナーの紹介

10/17(月)～10/26(水)

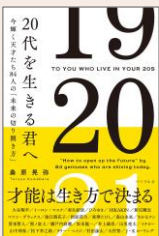
関キャンパス・可児キャンパス合同イベント 『オンライン学生選書』を開催しました！



秋の学生選書では、6名の学生が参加し、実際に今後の学習に使いたい本・読みたい本を中心に、図書館に入荷する本を学生目線で選びました。



専門知識を深められるものから、モチベーションがアップしそうな本、話題作まで盛りだくさん！



現在、両キャンパスにて展示中です！
(※すべて借りることができます)
学生たちお手製のおすすめ本紹介ポップもぜひ見に来てくださいね♪



↑※今回学生によって選ばれた本の一例

冬期休暇に伴う長期貸出のお知らせ

両キャンパス、下記の日程で長期貸出を行います。

12/9(金) 長期貸出開始 ⇒ 返却期限日 1/10(火)

- 貸出冊数は5冊までです。
- 視聴覚資は長期貸出の対象になりませんのでご注意ください。
- 返却日以内でも不要になりましたら早めの返却にご協力ください。
- 12/28(水)～1/4(水)は、年末年始のため休館となります。詳細は次頁カレンダーをご覧ください。

図書館利用案内

1. 開館時間

[通常開館]

・関キャンパス/可児キャンパス 月～金 9:10～19:00

[短縮開館（長期休暇期間中など）]

・関キャンパス/可児キャンパス 月～金 9:10～16:30

2. 休館日

- ・土曜日、日曜日
- ・国民の祝日
- ・全学一斉休暇期間
- ・本学行事日
- ・図書館整理期間
- ・図書館長が臨時に決めた時

3. 貸出冊数・期間

資料種類	対象者	利用数	貸出期間
図 書	教職員	5冊以内	3週間
	大学院生	5冊以内	3週間
	学生	5冊以内	2週間
	聴講生	5冊以内	2週間
	学外者	2冊以内	2週間
視聴覚資料	学外者	不可	不可
	その他	2点以内	3日間

図書館開館カレンダー（両キャンパス共通）

図書館通信発行時の予定です。来館前に、必ず図書館ホームページのカレンダーもご確認ください。

◆ 2022年12月

月	火	水	木	金	土	日
			1 9:10～ 19:00	2 9:10～ 19:00	3 休館	4 休館
5 9:10～ 19:00	6 9:10～ 19:00	7 9:10～ 19:00	8 9:10～ 19:00	9 9:10～ 19:00	10 休館	11 休館
12 9:10～ 19:00	13 9:10～ 19:00	14 9:10～ 19:00	15 9:10～ 19:00	16 9:10～ 19:00	17 休館	18 休館
19 9:10～ 19:00	20 9:10～ 19:00	21 9:10～ 19:00	22 9:10～ 19:00	23 (※1) 9:10～ 18:20	24 休館	25 休館
26 休館	27 9:10～ 16:30	28 休館	29 休館	30 休館	31 休館	

◆ 2023年1月

月	火	水	木	金	土	日
2 休館	3 休館	4 休館	5 13:30～ 16:30	6 9:10～ 16:30	7 休館	1 / 8 休館
9 休館	10 9:10～ 19:00	11 9:10～ 19:00	12 9:10～ 19:00	13 (※2) 関:通常開館 可児:休館	14 休館	15 休館
16 9:10～ 19:00	17 9:10～ 19:00	18 9:10～ 19:00	19 9:10～ 19:00	20 9:10～ 19:00	21 休館	22 休館
23 (※3) 9:10～ 16:00	24 9:10～ 19:00	25 9:10～ 19:00	26 9:10～ 19:00	27 9:10～ 19:00	28 休館	29 休館
30 9:10～ 19:00	31 9:10～ 19:00					

★12/23(金)～1/6(金)の間の開館日は、冬期休暇に伴う短縮開館となります。

※1 授業終了日のため、短縮開館。

※2 1/13(金)は大学入学共通テスト準備のため、**可児キャンパスのみ休館。**

※3 図書館会議のため、短縮開館。